

市議会報告

6月28日の市議会で、日本共産党市議団から高木たけし市議と河村ひろ子市議が一般質問を行いました。一部をご報告します。



高木たけし



河村ひろ子

活動報告

福山の教育を考える



7月1日、「子どもと教育を守る福山市民の会」定期総会に参加しました。

日本共産党 議員団 NEWS

発行 日本共産党福山市議会議員団
広島県福山市雷町3-4-25 401
電話・FAX 084192222815



村井あけみ



高木たけし



土屋ともり



河村ひろ子

浦の鞆

「朝宗亭」の保存対策を早急に

「町並みの核」「早期修理に取り組み」

「朝宗亭」は、18世紀に建てられた町家で、通りを挟む本宅「太田家住宅」ともに国の重要文化財です。

鞆港に面し、雁木や常夜燈などの港湾施設と一体となつて、世界遺産級と言われる歴史的景観を今に伝えていきます。幕末維新の「鞆七卿落」の舞台として、県の史跡指定も受ける貴重な建造物です。

文化財を失いかねない

しかし、老朽化が進み、雨漏りや壁の崩落、建物の傾きも見られ、きわめて深刻な状況にあります。

すみやかに保存修理を

県や国など関係機関と連携し、緊急に保存修理が必要です。市長がリーダーシップを発揮し、すみやかに対策を行うよう求めました。

↓建物内を視察 =6月19日



市は、「朝宗亭」の現状を「抜本的な修理が必要」と

「町並みの核となる貴重な歴史的建造物が、早期に修理できるよう取り組む」との決意を答えました。後世に残すべき文化財を守るため、党市議団も関係機関への要望や住民との連携を進め、力を尽くします。

鞆七卿落の舞台として、県の史跡指定も受ける貴重な建造物です。



↑右端が朝宗亭 (市ホームページより)

文化財

市長の政治姿勢を問う

「文化発展の基礎」「適切な保存・活用が重要」

芸術・文化は、心豊かな暮らしに欠かせません。その環境を整えるのは

光や消費拡大に活用しようとしています。学芸員を「観光マインドがない」「一番のガン。この連中を一番のガン」とした地方創生

に伝える役割を軽視した経済優先の政策です。「文化財保護法」は、「国民の文化的向上と世界文化の進歩に貢献することを目的」としており、観光

また、政府は文化財を観光格段に低い水準です。

大臣の暴言にも表れるように、歴史や文化を次世代

振興が第一ではありませ

また、政府は文化財を観

また、政府は文化財を観

また、政府は文化財を観



「ヒバクシャ署名」積極的な取り組みを

「核兵器禁止条約」の第2回国連会議が7月7日まで開催。核兵器廃絶を求める「ヒバクシャ国際署名」300万筆が提出され、条約成立を大きく後押ししています。

福山市も署名コーナーを市役所や支所に設置し、市民に署名を広めるよう求めましたが、「市長が会長を務める『原水爆禁止運動福山推進連盟』を通じ、市民団体の活動に連携する」との答弁にとどまりました。

「後世の人びとが生き地獄を体験しないように、生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したい」一被爆者の願いに応えるために、市としても主体的に、できることは積極的に取り組むべきです。

ん。文化財の根源的価値を守る町づくりこそ、結果として観光や地域経済の活性化につながるものです。文化財に対する市長の考えを質したところ、「歴史や文化を正しく理解するための生きた教材で、将来の文化の向上発展の基礎となる。国民的財産であ

り、適切な保存・活用が重要」「本質的な価値を明らかにし、磨きをかけることで、地域への誇りと愛着を高めるとともに、その魅力を市内外に発信したい」と答えました。この考えにもとづき、市の文化行政を豊かに発展させる必要があります。